

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3～5年度）第5章 令和5年度モニタリング資料

頁	分野	通しNo.	項目	目標値 実績値	※参考 令和2年度 (2020年度) (実績)	令和3年度 (2021年度) (実績)	令和4年度 (2022年度) (実績)	令和5年度 (2023年度) (実績)	令和4年度と令和5年度（2023年度）の 実績値に関する増減理由	令和5年度（2023年度）の目標値と 実績値の乖離に関する説明
87	福祉施設の 入所者の地 域生活への 移行	1	地域生活移 行者数	目標値	平成30～32年度 に35人	令和3～5年度に 22人	令和3～5年度に 22人	令和3～5年度に 22人	精神科病院からの地域移行に比べ、施設 からの地域移行は課題が多く、前年に引 き続き低い水準となった。	国の基準から算出した目標値に対し、施 設入所からの地域移行は課題も多く、思 うように進んでいない。
				実績値	H30から20人 (R2で+5人)	R3から4人 (R3で+4人)	R3から6人 (R4で2人)	R3から9人 (R5で3人)		
94	福祉施設から一般就労 への移行等	2	年間一般就 労移行者数	目標値	平成32年度に166 人	令和5年度に166 人	令和5年度に166 人	令和5年度に166 人	法定雇用率の引き上げと、コロナウイル ス感染症の抑制緩和により、企業が障害 者雇用の拡大に取り組み人数が増加した と考えられる。	左記の理由により、目標を上回る数値とな ったと考えられる。
				実績値	123人 (-8人)	155人 (+32人)	166人 (+11人)	197人 (+31人)		
		3	就労移行支 援事業所から一般就労 への移行実 績	目標値		令和5年度に117 人	令和5年度に117 人	令和5年度に117 人		概ね目標値どおりとなった。
				実績値		116人	117人	111人		
		4	就労継続支 援A型から一般就労への移行実績	目標値		令和5年度に13人	令和5年度に13人	令和5年度に13人		目標を上回る数値となった。
				実績値		8人	13人	31人		
		5	就労継続支 援B型から一般就労への移行実績	目標値		令和5年度に30人	令和5年度に30人	令和5年度に30人		目標を上回る数値となった。
				実績値		29人	30人	36人		
		6	就労定着支 援事業の利用者の割合	目標値		7割以上	7割以上	7割以上		目標値どおりとなった。
				実績値		75%	75%	71%		
		7	就労定着支 援事業所における就労 定着率が8割以上の事 業所の割合	目標値		9割以上	9割以上	9割以上		目標値どおりとなった。
				実績値		90%	90%	90%		
103	訪問サー ビス ①居宅介護 ②重度訪問 介護 ③行動援護 ④同行援護 ⑤重度障害 者等包括支 援	8	時間分	目標値	644,300時間分	674,711時間分	692,937時間分	711,163時間分	新型コロナウイルス感染症が終息し、利 用が回復してきたため、実績が増加し た。また、行動障害がある方を地域で支 援していくため、重度訪問介護や行動援 護を利用する形が増加した。 【サービスごとの提供量（時間分）】 ①居宅介護 R2：84,604 R3：83,973 R4：84,807 R5：90,238 ②重度訪問介護 R2：510,151 R3：501,676 R4：508,499 R5：535,725 ③行動援護 R2：9,953 R3：11,251 R4：10,554 R5：11,930 ④同行援護 R2：31,385 R3：33,810 R4：35,608 R5：39,580 ⑤重度障害者等包括支援 R2：0 R3：0 R4：0 R5：0	新型コロナウイルス感染症からの利用回 復が当初の想定よりも遅れたことによる ものであり、増加率としては当初の想定 よりも急速に伸びている。
				実績値	636,093時間分 (+2,989時間分)	630,710時間分 (-5,383時間分)	639,468時間分 (+8,758時間)	677,473時間分 (+38,005時間)		
		9	利用者数	目標値	962人	678人	696人	1,173人		
				実績値	1,018人 (-16人)	1,021人 (+3人)	1029人 (+8人)	1,055人 (+26人)		

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3～5年度）第5章 令和5年度モニタリング資料

頁	分野	通し No.	項目	目標値 実績値	※参考 令和2年度 (2020年度) (実績)	令和3年度 (2021年度) (実績)	令和4年度 (2022年度) (実績)	令和5年度 (2023年度) (実績)	令和4年度と令和5年度（2023年度）の 実績値に関する増減理由	令和5年度（2023年度）の目標値と 実績値の乖離に関する説明
105	日中活動系 サービス ①生活介護	10	利用者数	目標値	1,370人分	1,395人分	1,420人分	1,445人分	事業所数が増加（令和4年66か所、令和5年度69か所）したこともあり増となった。	事業所数が増加したこともあり増加傾向であるが、想定した程の値までは増加しなかった。
				実績値	1,350人分 (+6人分)	1,372人 (+22人)	1,375人 (+3人)	1,387人 (+12人)		
105	②自立訓練 （機能訓練）	11	利用者数	目標値	4人分	4人分	4人分	4人分	過去2年利用が多かったが、標準的な実績に戻ったため、微減となった。	過去2年利用が多かったが、標準的な実績に戻ったため、微減となり、目標値を下回った。
				実績値	4人分 (-2人分)	8人 (+4人)	7人 (-1人)	4人 (-3人)		
106	③自立訓練 （生活訓練）	12	利用者数	目標値	136人分	140人分	140人分	140人分	就労移行支援利用前に生活訓練を利用するニーズが増加したため。	就労移行支援利用前に生活訓練を利用するニーズが増加したため。
				実績値	134人分 (-2人分)	159人 (+25人)	178人 (+19人)	215人 (+37人)		
107	④就労移行 支援	13	利用者数	目標値	400人分	411人分	422人分 (+31人分)	433人分	市内事業所の増加（令和4年度19か所、令和5年度21か所）により、利用者数の増加となった。	就労に関する意識の高まりなどを背景に、目標値を上回る値となっている。
				実績値	391人分 (-1人分)	407人 (+16人)	423人 (+16人)	429人 (+6人)		
108	⑤就労継続 支援（A 型）	14	利用者数	目標値	149人分	153人分	157人分	161人分	市内事業所の増加（令和4年度11か所、令和5年度12か所）により、利用者数の増加となった。	就労に関する意識の高まりなどを背景に、目標値を大幅に上回る値となっている。
				実績値	164人分 (+15人分)	184人 (+20人)	217人 (+33人)	244人 (+27人)		
	⑤就労継続 支援（B 型）	15	利用者数	目標値	1,480人分	1,530人分	1,580人分	1,630人分	市内事業所の増加（令和4年度77か所、令和5年度80か所）により、利用者数の増加となった。	就労に関する意識の高まりなどを背景に、利用希望者・事業所数の増加となり目標値を大幅に上回る値となっている。
				実績値	1,455人分 (-25人分)	1,532人 (+77人)	1,658人 (+126人)	1782人 (+124人)		
109	⑥就労定着 支援	16	利用者数	目標値	100人分	120人分	140人分	160人分	新型コロナウイルス感染症による受け入れ抑制などの影響を受け近年利用が伸びなかったが、終息に伴い、利用が増加した。	概ね想定通りだが、就労に関する意識の高まりなどを背景に、利用者は増加している。
				実績値	110人分 (+18人分)	139人 (+29人)	156人 (+17人)	162人 (+6人)		
110	⑦療養介護	17	利用者数	目標値	43人分	43人分	43人分	43人分	利用調整等による。	利用調整等による。
				実績値	43人分 (+1人分)	43人 (±0人)	43人 (±0人)	43人 (±0人)		
111	⑧短期入所	18	利用者数	目標値	288人 (福祉型220人 医療型68人)	445人 (福祉型374人 医療型71人)	455人 (福祉型382人 医療型73人)	465人 (福祉型390人 医療型75人)	事業所数が増加した（令和4年度26か所、令和5年度28か所）こと、及び新型コロナウイルスの5類移行に伴い利用が増加したことにより、昨年度より実績が増加したと考えられる。	事業所数は増加したものの、まだ充分ではないため、目標値には届いていないと考えられる。
				実績値	337人 (福祉型282人 医療型55人)	360人 (福祉型280人 医療型80人)	396人 (福祉型330人 医療型66人)	441人 (福祉型374人 医療型67人)		
		19	延べ利用日数	目標値	17,654日 (福祉型15,460日 医療型2,194日)	22,625日 (福祉型19,803日 医療型2,822日)	23,129日 (福祉型20,227日 医療型2,902日)	23,633日 (福祉型20,651日 医療型2,982日)		
				実績値	15,851日 (福祉型14,077日 医療型1,774日)	17,347日 (福祉型15,435日 医療型1,912日)	18,904日 (福祉型17,193日 医療型1,711日)	19,427日 (福祉型17,770日 医療型1,657日)		
112	居住系サービス ①共同生活 援助	20	利用者数	目標値	772人分	850人分	925人分	1,000人分	市内事業所の増加（令和4年度91か所、令和5年度96か所）により、利用者数の増加となった。	事業所の増加が続いているが、目標値の設定がやや過大であるため、乖離が生じたと考えられる。
				実績値	826人分 (+54人分)	885人 (+59人)	920人 (+35人)	977人 (+57人)		
113	②施設入所 支援	21	利用者数	目標値	380人分	380人分	380人分	380人分	減少については、地域移行と自然減によるものだが、新たな施設入所については、抑制されているため、横ばいから減少傾向に転じている。	減少については、地域移行と自然減によるものだが、新たな施設入所については、抑制されているため、横ばいから減少傾向に転じている。
				実績値	376人分 (+3人分)	376人 (±0人)	364人 (-12人)	350人 (-14人)		
114	③自立生活 援助	22	利用者数	目標値	19人分	22人分	24人分	26人分	サービスの周知と地域生活のニーズは広がっているため、利用者の需要は一定量ある。 利用者数は概ね横ばいで今後も推移していくと思われる。	サービスの周知と地域生活のニーズが広がっているため、想定よりも多くの方に利用されている。
				実績値	30人分 (+14人分)	29人 (-1人)	40人分 (+11人)	38人 (-2人)		

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3～5年度）第5章 令和5年度モニタリング資料

頁	分野	通しNo.	項目	目標値 実績値	※参考 令和2年度 (2020年度) (実績)	令和3年度 (2021年度) (実績)	令和4年度 (2022年度) (実績)	令和5年度 (2023年度) (実績)	令和4年度と令和5年度（2023年度）の 実績値に関する増減理由	令和5年度（2023年度）の目標値と 実績値の乖離に関する説明
115	相談支援 ①計画相談支援	23	計画相談支援	目標値	209人分/月	220人分/月	230人分/月	240人分/月	事業所が増加した（令和4年度41か所、令和5年度44か所）ことにより、利用が伸びたと考えられる。	延べ人数では増加しているものの、障害の程度や受け入れ態勢の状況もあり、目標値までは達しなかった。
				実績値	191人分/月 (+9人分/月)	201人分/月 (+10人分/月)	210人分/月 (+9人分/月)	215人分/月 (+5人分/月)		
116	②地域移行支援	24	地域移行支援	目標値	5人分/月	9人分/月	10人分/月	11人分/月	新型コロナウイルスが終息したことにより、地域移行の動向が上向いたと推測される。 地域定着については、ほぼ横ばいとなった。	新型コロナウイルスが終息したことにより、地域移行の動向が上向いていると推測されるが、目標ほどの伸びには届かず、乖離が生じている。
				実績値	4人分/月 (-3人分/月)	8人分/月 (+4人分/月)	4人分/月 (-4人分)	9人分/月 (+5人分)		
117	③地域定着支援	25	地域定着支援	目標値	5人分/月	7人分/月	8人分/月	9人分/月		
				実績値	5人分/月 (+1人分/月)	3人分/月 (-2人分/月)	1人分/月 (-2人分/月)	1人分/月 (0人分/月)		
121	相談支援事業	26	相談支援事業所の相談件数	目標値	21,500件	34,000件	36,000件	38,000件	コロナウイルス感染症の抑制緩和により、不安要素が減少したことによる件数の減少だと思われる。	コロナウイルス感染症の抑制緩和により、不安要素が減少したことによる件数の減少だと思われる。
				実績値	34,348件 (+5,397件)	33,649件	30,152件	28,736件		
122	成年後見制度利用支援事業	27	申立て件数	目標値	12件	15件	15件	15件	近年成年後見制度の認知度の向上により、件数が増えているが、令和5年度は申請が少なかった。	過去の申請件数を元に目標値を定めたが、申請実績が想定ほど増えなかった。
				実績値	12件 (+11件)	12件 (+0件)	4件 (-8件)	2件 (-2件)		
125	手話通訳講習会修了者数	28	初級手話講習会	目標値	125人	80人	80人	80人	新型コロナウイルスの5類移行により、定員数をコロナ禍以前と同程度に戻したことにより、受講生が増加した。	左記理由により受講者数が増加し、目標値に達した。
				実績値	0人 (-78人)	60人 (+60人)	67人 (+7人)	82人 (+15人)		
		29	中級手話講習会	目標値	69人	60人	60人	60人	新型コロナウイルスの5類移行により、定員数をコロナ禍以前と同程度に戻したことにより、受講生が増加した。	令和4年度は新型コロナウイルスによる受講控え等もあり、初級修了者数が少なかったため、令和5年度の中級受講者が減少し、目標値には達しなかった。
				実績値	0人 (-57人)	26人 (+26人)	41人 (+15人)	51人 (+10人)		
		30	手話通訳者養成講座入門	目標値	39人	20人	20人	20人	新型コロナウイルスの5類移行により、定員数をコロナ禍以前と同程度に戻したことにより、受講生が増加した。	左記理由により受講者数が増加し、目標値に達した。
				実績値	0人分 (-29人)	14人 (+14人)	14人 (0人)	27人 (+13人)		
		31	手話通訳者養成講座	目標値	14人	5人	5人	5人	手話通訳養成講座は、試験に合格した者が受講可能となっており、令和5年度は6人が合格。令和4年度に比べ、合格者が増加した。	試験合格者の増により、目標値に達した。
				実績値	0人 (-9人)	6人 (+6人)	3人 (-3人)	6人 (+3人)		
	要約筆記者養成修了者数	32	要約筆記者養成講座	目標値		—	10人	—	2ヶ年事業のため、令和5年度は修了者なし	乖離なし
				実績値		8人	0人分 (-8人)	0人 (0人)		
	盲ろう通訳者・介助者養成修了者数	33	盲ろう通訳者・介助者養成講座	目標値		5人	5人	5人	盲ろうの講座募集時期に、コロナが流行し盲ろう者への介助には接触が不可欠となることから、受講控えがあったものと想定される。	コロナによる影響と考える。
				実績値		5人	1人 (-4人)	1人 (0人)		

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3～5年度）第5章 令和5年度モニタリング資料

頁	分野	通しNo.	項目	目標値 実績値	※参考 令和2年度 (2020年度) (実績)	令和3年度 (2021年度) (実績)	令和4年度 (2022年度) (実績)	令和5年度 (2023年度) (実績)	令和4年度と令和5年度（2023年度）の 実績値に関する増減理由	令和5年度（2023年度）の目標値と 実績値の乖離に関する説明
125	失語症者向け意思疎通 支援者養成 修了者数	34	失語症者向け意思疎通 支援者養成 （基礎）	目標値	4人	4人	4人	4人	令和3年度は、合同開催の東京都の決定により、定員を半数の2名としていたが、令和4年度に定員を4名に増やした。令和5年度は定員数と通りの実績となった。	目標値に達した。
				実績値	0人 （－4人）	2人 （+2人）	3人 （+1人）	4人 （+1人）		
		35	失語症者向け意思疎通 支援者養成 （応用）	目標値	4人	4人	4人	4人	令和3年度に基礎クラスを修了したのが2名だったため、令和4年度受講対象者は2名となる。	新型コロナウイルスの影響により、目標を下回ったと考えられる。
				実績値	0人 （新規予定/コロナで中止）	3人 （新規扱い）	2人 （－1人）	1人 （－1人）		
	手話通訳・要約筆記協 力者等派遣 件数	36	述べ派遣件 数	目標値	1,800件	1,740件	1,790件	1,840件	令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大による利用控えの影響で目標を下回ったが、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、実績が回復した。	新型コロナウイルスの影響により、目標を下回ったと考えられる。
				実績値	1,157件 （－511件）	1701件 （+544件）	1,516件 （－185件）	1,617件 （101件）		
	手話通訳・要約筆記協 力者の登録 数	37	手話通訳協 力者	目標値	46人	40人	41人	42人	全国統一試験合格者の増加や、他市からの転入者により登録者数が増加した。	新型コロナウイルスの影響で令和2年度の全国統一試験は中止により合格者が激減したため、目標値よりも減員となった。
				実績値	40人 （＋5人）	35人 （－5人）	33人 （－2人）	38人 （＋5人）		
		38	要約筆記協 力者	目標値	19人	19人	20人	21人	新規登録と退会の実績により増減なし	新規登録がある一方、介護や転居による退会も同数あり、目標値には届かなかった。
				実績値	19人 （＋2人）	17人 （－2人）	17人 （0人）	17人 （0人）		
	盲ろう者向け通訳・介 助者の登録 数	39	登録者数	目標値	10人	12人	13人	14人	新型コロナウイルスの影響により、減員となったと考えられる。	新型コロナウイルスの影響により、減員となったと考えられる。
				実績値	11人 （－4人）	15人 （＋4人）	13人 （－2人）	11人 （－2人）		
126	日常生活用具給付事業 ①介護・訓練支援用具	40	給付件数	目標値	70件	60件	60件	60件	概ね例年のとおりである。	概ね目標値どおり。
				実績値	50件 （－5件）	43件 （－7件）	42件 （－1件）	63件 （+21件）		
	②自立生活支援用具	41	給付件数	目標値	140件	110件	120件	130件		障害の重度化や高齢化による件数の増加を見込んでいたが、増加のペースが見込みを下回った。
				実績値	97件 （＋9件）	86件 （－11件）	69件 （－17件）	74件 （+5件）		
	③在宅療養等支援用具	42	給付件数	目標値	200件	130件	130件	130件		障害の重度化や高齢化による件数の増加を見込んでいたが、増加のペースが見込みを下回った。
				実績値	84件 （－8件）	94件 （+10件）	91件 （－3件）	83件 （－8件）		
	④情報・意思疎通支援用具	43	給付件数	目標値	395件	310件	320件	330件		障害の重度化や高齢化による件数の増加を見込んでいたが、増加のペースが見込みを下回った。
				実績値	277件 （－23件）	199件 （－78件）	163件 （－36件）	144件 （－19件）		
	⑤排泄管理支援用具	44	給付件数	目標値	12,100件	13,300件	13,500件	13,700件		令和3年度に紙おむつの支給対象者を拡充したため件数が大幅に増加した。その後も増え続けている。
				実績値	11,448件 （－443件）	13,810件 （+2,362件）	14,066件 （+256件）	14,094件 （+28件）		
	⑥小規模住宅改修費	45	給付件数	目標値	35件	11件	12件	13件		概ね目標値どおり。
				実績値	6件 （－4件）	7件 （+1件）	9件 （+2件）	7件 （－2件）		

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3～5年度）第5章 令和5年度モニタリング資料

頁	分野	通し No.	項目	目標値 実績値	※参考 令和2年度 (2020年度) (実績)	令和3年度 (2021年度) (実績)	令和4年度 (2022年度) (実績)	令和5年度 (2023年度) (実績)	令和4年度と令和5年度（2023年度）の 実績値に関する増減理由	令和5年度（2023年度）の目標値と 実績値の乖離に関する説明
127	移動支援事業	46	利用者数	目標値	780人	789人	798人	807人	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による利用時間の増加と思われる。	左記の理由により実績値が増加したが、急激な利用回復ではないため、目標値には届かなかったと考えられる。
実績値				634人 (-137人)	638人 (+4人)	704 (+66人)	702人 (-2人)			
127		延べ利用時間数	目標値	86,500時間	87,400時間	88,300時間	89,200時間			
			実績値	60,645時間 (-26,023時間)	70,672時間 (+10,027時間)	78,670時間 (+7,998時間)	81,709時間 (+3,039時間)			
128	地域活動支援センター事業	48	Ⅰ型相談件数	目標値	7,300件	2,900件	3,000件	3,100件	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、地活利用等の相談が増加したと思われる。	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、地活利用等の相談が増加したと思われる。
				実績値	8,575件 (-64件)	9,376件	10,194件	10,489件		
		49	Ⅲ型延べ利用者数	目標値	4,800人	4,350人	4,450人	4,550人	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による件数の増加と思われる。	左記の理由により、実績値が増加したと思われる。
				実績値	3,486人 (-726人)	3,212人	4,130人	4,876人		
129	訪問入浴サービス事業	50	延べ利用者数	目標値	3,250人	3,120人	3,300人	3,400人	障害者の重度化や家族の高齢化を背景に、近年増加傾向だったが、コロナ感染症の影響で利用控えがあったと考えられる。	家庭に訪問して入浴を提供するサービスであるため、コロナ感染症で利用が減少したと考えられる。
実績値	2,892人 (-149人)			2,514人 (-378人)	2,479人 (-35人)	2,448人 (-31人)				
130	自動車運転教習費	51	助成件数	目標値	10件	7件	7件	7件	目標値通り。	目標値通り。
				実績値	7件 (+1件)	7件 (0件)	7件 (0件)	7件 (0件)		
130	自動車改造費助成	52	助成件数	目標値	14件	11件	11件	11件	新型コロナウイルス感染症が終息し、利用が上向いてきたと推測される。	新型コロナウイルスが終息したことにより、利用は上向いていると推測されるが、目標値には届いていない。
				実績値	6件 (+0件)	8件 (+2件)	3件 (-5件)	6件 (+3件)		
131	点字広報等発行	53	部数	目標値	1,370部	1,200部	1,210部	1,220部	点字広報希望者の微増。	市内の視覚障害者の数は、大きく増減しておらず、特定多数のイベント開催による点字印刷物の一時的な増刷がある年以外は、部数が伸びない状況となっているため、目標値を下回った。
				実績値	963部 (-114部)	873部 (-90部)	850部 (-23部)	890部 (+40部)		
131	声の広報等発行	54	部数	目標値	3,000部	2,200部	2,250部	2,300部	音声アプリの利用により、対前年と比較して減少となったと推測される。	概ね発行部数は例年のとおり提供し、目標値を達成している。
				実績値	2,660部 (252部)	2,589部 (-71部)	2,580部 (-9部)	2,531部 (-49部)		
132	障害者日中一時支援事業	55	延べ利用者数	目標値	1,296人	1,750人	1,760人	1,770人	令和3～4年度は利用が増加したが、平年の利用者数に戻ったと推測される。	目標値がやや過大であることが、乖離の原因であると推測される。今後は概ね横ばいで推移すると思われる。
				実績値	1,193人 (-428人)	1,353人 (+160人)	1,365人 (+12)	1,236人 (-129人)		
134	児童発達支援	56	利用者数	目標値	350人分	370人分	390人分	410人分	保護者等からのニーズが高いサービスであり、市内事業所も35か所から43か所になったことで利用者数の大幅増となった。	保護者等からのニーズが高いサービスであったが、市内事業所が35か所から43か所になったことで目標値を大幅に上回った。
				実績値	412人分 (+62人分)	510人分 (+98人分)	713人分 (+203人分)	851人 (+138人)		
135	医療型児童発達支援	57	利用者数	目標値	0人分	1人分	1人分	1人分	市内事業者が無いこともあり、利用者は増えなかった。	市内事業者が無いこともあり、利用者は増えなかった。
				実績値	0人分 (±0人分)	0人分 (±0人分)	0人分 (±0人分)	0人分 (±0人分)		
136	放課後等デイサービス	58	利用者数	目標値	1,068人	1,100人	1,130人	1,160人	市内事業所が76か所から84か所と増加したため、実績も増加となった。	市内事業所の大幅な増加により、目標値を大幅に超過したと考えられる。
				実績値	1,087人 (+19人)	1,170人 (+83人)	1,370人 (+200人)	1,566人 (+196人)		

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3～5年度）第5章 令和5年度モニタリング資料

頁	分野	通し No.	項目	目標値 実績値	※参考 令和2年度 (2020年度) (実績)	令和3年度 (2021年度) (実績)	令和4年度 (2022年度) (実績)	令和5年度 (2023年度) (実績)	令和4年度と令和5年度（2023年度）の 実績値に関する増減理由	令和5年度（2023年度）の目標値と 実績値の乖離に関する説明
137	保育所等訪問支援	59	利用者数	目標値	132人分	162人分	192人分	222人分	市内事業所が8か所から9か所になったこと、連携をとる保育所が増えたこと、保健福祉センターでの心理相談からの連携で利用者が増えたことが大幅な増の要因と考えられる。	令和2年度当初の増加ベースが、後半に予想よりも落ち着いたことで、目標値との乖離が発生しているが、今後もニーズは高い状態で推移すると思われる。
				実績値	92人分 (+74人分)	142人 (+50人)	165人 (+23人)	178人 (+13人)		
138	居宅訪問型 児童発達支援	60	利用者数	目標値	0人分	1人分	1人分	1人分	市内事業者が無い（近隣に2か所のみ）こともあり、利用者は増えなかった。	市内事業者が無い。近隣市の事業所を利用されている方が1名分。
				実績値	0人分 (±0人分)	2人分 (+2人分)	1人分 (-1人分)	2人分 (+1人分)		
139	障害児相談支援	61	利用者数	目標値	24人分／月	33人分／月	35人分／月	37人分／月	障害児相談支援事業は令和5年度は2か所増加したことによる微増が考えられる。	障害児相談支援事業は令和5年度は2か所増加した（令和4年度20か所、令和5年度22か所）ものの、児童のセルフプラン率は大きく変化していないことから、目標値には届かなかったと考えられる。
				実績値	26人分／月 (-1人分／月)	26人分／月 (±0人分／月)	28人分／月 (+2人分／月)	31人分／月 (+3人分／月)		